

町会長就任のごあいさつ

中延五丁目町会



中延五丁目町会
佐々木 真人(ささき まさと)会長

僭越ながら、町会長就任のご挨拶をさせていただきます。
30年ほど前に移り住むとほぼ同時に町会活動を始め、今般、中延五丁目町会長を引き受けることになりました。
『まち中に「えがお」と「ふれあい」があふれる暖かいまち』という目標に向かって町会員・役員と手を携えて、一步ずつ歩みを進めるなかで絆が生まれ、この絆が震災時の人命救助や防火活動などの原動力になると信じています。
若輩者と名乗ることさえおこがましい未熟者でございますので、皆様のご指導とご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

夏まつり開催告知

開催日時および場所 令和5年7月22日(土) 源氏前小学校校庭 ☆雨天等による順延は行いません。

☀ 前半の部(午前10時～正午) ★ 後半の部(午後4時～午後7時30分)

(前半)ジュース
ベビーカステラ
ポップコーン



(後半)ジュース
ベビーカステラ
焼きそば・磯辺焼き
フランクフルト
ヨーヨーつり



磯辺焼き・焼きそば・フランクフルトは事前にチケットを販売します。☆その他模擬店は当日現金販売です。
⇒ 令和5年7月16日(日)・17日(月) 午後1時～午後4時 荏原第四区民集会所にて
※当日の開催状況等は、荏原第四地区のSNSをご覧ください。【主催】荏原第四地区夏まつり実行委員会

親子レク募集

開催日: 令和5年10月1日(日)
行き先: 東京ドイツ村(アクティビティやバーベキュー等)
参加費: 大人(中学生以上) 3,000円
小学生 2,000円
幼児(3歳以上) 1,000円

募集対象: 荏原第四地区管内に在住・在学の3歳～中学生とご家族様
申込期間: 令和5年7月5日(水)～8月4日(金)
申込方法: 品川区電子申請(オンライン)
※右記のQRコードもしくはURLをお使いください。
申込前に必ず品川区ホームページをご確認ください。



<https://x.gd/eMjH3>

【主催】青少年対策荏原第四地区委員会



☆今週

信号機 今の今週 赤青黄(悦)

ウインクに 見えた彼女は 花粉症(公)

☆したたか

キムチ味 和洋中を 従わす(健)

したたかな 当りも外れ 大魚逃げ(美)



こどもの日の取り組み



源氏前保育園

大きなこいのぼりが園庭に飾られると子どもたちは「おおきいね!」「あれは子どもかな」など話していました。
由来や製作は年齢に合わせて楽しめるようにしました。年長児は園に飾る“五月人形”を保育者と一緒に組み立てました。見本を見ながら自分たちでできるところはやってみました。できあがると、「やったね」「できたね」など感想を言っていました。
おやつに“ちまき”が出ました。「巻いてあるのは“笹”だよ」「どうやって“笹”をとるのかな?」「こうやるととれるね」と保育者や友達とやりとりしながら食べていました。
「おいしいね。」といいながら、よく食べていました。
(文責: 副園長 平賀 美智子)



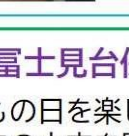

東中延保育園

5月5日のこどもの日に向けて『こどもの日の会』を開きました。1歳児と2歳児クラスは2階のホールで年齢に合わせてこどもの日の由来の話を聞いたり【こいのぼり】の歌を歌ったり、色々な色のうろこを大きなこいのぼりに貼り、カラフルに出来上がると目をキラキラさせて嬉しそうに眺めていました。
一方、3歳児・4歳児・5歳児クラスは1階のホールでクラス毎に行い、由来の話を聞いたりした後、こいのぼりに餌をあげるゲームで元気に体を動かしました。「いっぱいごはんあげちゃった」「応援すごかったね」等と話しながら笑顔がこぼれ、会を通して子ども達の成長を喜び合い、今後の健やかな成長を願いました。
(文責: 園長 薄木 小百合)






西中延保育園



西中延保育園

西中延保育園の園庭で元気に泳ぐこいのぼりを見た後、子ども達も年齢に合わせたこいのぼりを作成しました。
指先に力を入れて器用に紙をちぎったり、絵の具を使ってはみ出さないようにうろこに色を付けていました。
各クラスオリジナルのこいのぼりが出来あがり「玄関に飾ろう～」と嬉しそうに持ち帰っていました。
(文責: 副園長 丹野 由佳)




富士見台保育園

5月5日のこどもの日を楽しんで過ごせるように各クラスで端午の節句の由来を聞いたり、こいのぼりの歌を歌ったりして雰囲気を楽しみました。
3・4・5歳児クラスは手作り兜をかぶって集会に参加したり、スライムを柏餅に見立てて遊んだりしました。0・1・2歳児クラスも各クラスが作ったこいのぼりを見て楽しんでいました。
(文責: 堀越 知香)






旗台小学校 あいさつ運動



「おはようございます」
5月に行った「あいさつキャンペーン」では、毎朝、子どもたちの元気な声が響いていました。「あいさつ運動」「あいさつ名人」「あいさつキャンペーン」と少しずつ名前を変えながらも、旗台小学校が、ずっと大切にしてきた活動です。黄色いたすきを肩から掛けて、張り切って全力で声を出す子、少し恥ずかしそうな子、友達に手を振る子など、児童の様子は様々ですが、自分の声に友達が応えてくれたり、地域の方も挨拶を返してくれたりするうちにみんな笑顔になってきます。当番制ではありますが、ボランティアで来てくれる子がたくさんいるのもうれしいです。
挨拶は、相手との良好な関係を築くきっかけになり、人間関係を円滑にするための手掛かりになるもの。また、社会においても基本的な礼儀として、とても大切なものです。これからも日常的にみんなが挨拶を交わし合い、互いに心が通い合う温かい学校を目指していきたいと思います。
(文責: 副校長 福本 千絵)